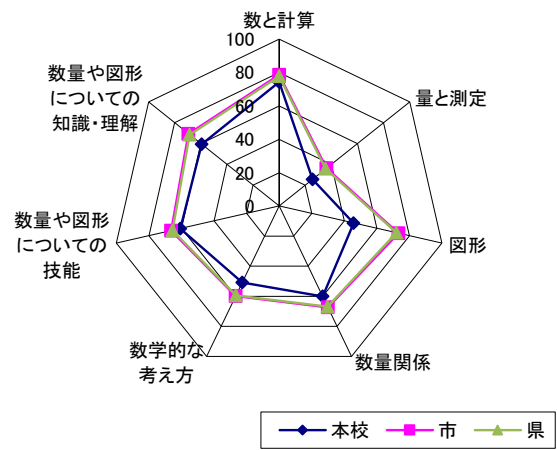


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	74.3	78.6	77.7
	量と測定	25.7	36.3	35.7
	図形	45.8	73.3	72.1
	数量関係	60.1	67.4	66.9
観点	数学的な考え方	50.8	59.9	59.4
	数量や図形についての技能	60.7	66.3	65.5
	数量や図形についての知識・理解	59.3	69.4	68.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●宇都宮市の平均をやや下回っている。 ●小数(小数第1位)÷2位数の計算(割り切れるまで)の問題については、61.1%で市の平均より11.6ポイント下回っている。 ●倍で表された数量関係の場面についての問題では、市の平均より18ポイント下回っている。 ○「かけ算」については、平均正答率が75.0%で市の平均を8.0ポイント上回っている。	・授業の展開において、振り返りの時間を必ず設け、学習内容の定着を図る。 ・分数の減法、小数の除法の計算方法については、再確認し、計算ドリルの問題に繰り返し取り組めるようにしていく。計算が苦手な児童については個別指導を充実させていく。
量と測定	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●1㎡の正方形のパネルに、1cm ² の正方形のタイルを並べる問題については、27.8%で市の平均を20.9ポイント下回っている。	・面積の単位の換算、面積の求め方については、今後視聴覚教材を活用したり、自らが操作する機会を取り入れながら、学習内容の定着を図る。
図形	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●立方体の展開図から、ある面と平行な面を選ぶ問題では28.5ポイント、2辺の続きをかくて平行四辺形を完成させる問題では26.5ポイント、市の平均を下回っている。	・三角形や四角形の特徴について、正しく理解できるよう復習問題を取り入れていく。実際に作図し、三角形や四角形の性質についてじっくり考える機会も設けていく。
数量関係	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●図と表をもとに二つの数の関係を式に表す問題については、38.9%で市の平均を25.8ポイント下回っている。	・フォローアップシートや計算ドリル等を活用し、表を読み取り、関係を式に表す問題を解く機会を多くする。また、読み取れたことを自らの言葉で書くことを大切に指導していく。